

Georges Rouault
and
Japan

ルオーと

日本展

日本に愛された
ルオーと
日本人画家の
美の、
ハーモニー。



ジョルジュ・ルオー 《ビエロ》 1925年 油彩/紙 個人蔵(ギャラリーためなが協力)

● 響き合う芸術と魂 ● 交流の百年 ●

富岡鉄斎から
梅原龍三郎、
松本竣介、
そして現代作家まで。

2020.
4.11 土

6.23 火

休館日：水曜日(但し4月29日、5月6日は開館)

開館時間：午前10時より午後6時まで(ご入館は午後5時30分まで)

※5月8日(金)、6月5日(金)は夜間開館 午後8時まで(ご入館は午後7時30分まで)

主催：パナソニック汐留美術館、NHKプロモーション、東京新聞

後援：在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本、港区教育委員会

協力：日本航空

特別協力：ジョルジュ・ルオー財団

5月18日(月)国際博物館の日は、すべての方が入館無料です。

A Shared Spirit
and
Sense of Art

パナソニック
汐留美術館

Panasonic Shiodome Museum of Art
ROUAULT GALLERY



響き合う、色と線。



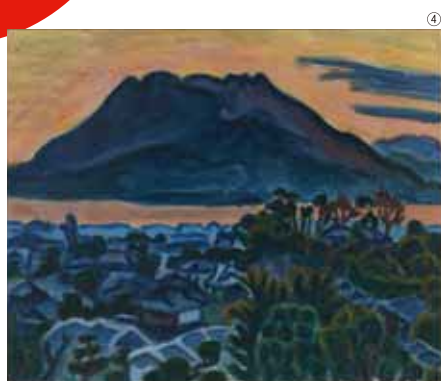
①



②

●20世紀フランスを代表する画家ジョルジュ・ルオー(1871-1958)。およそ100年前、パリでルオーの作品に衝撃を受けた梅原龍三郎は、1921年にルオーの《裸婦》を購入して帰国します。以後、ルオーの作品はたて続けに日本に紹介され、その力強い線や輝くような絵柄は、日本の洋画界に少なからず影響を与えました。一方ルオーは、1929年にコレクター福島繁太郎のパリの家を自ら訪問し、福島の家で制作に励むなど、日本の芸術家らと親交を結びました。

●本展は、こうしたルオーと日本との物語性豊かな接点に注目しつつ、日本で称賛されてきたルオーの油彩画、水彩画、版画と梅原龍三郎や松本竣介、三岸好太郎など近代洋画を代表する画家による選りすぐりの作品を展覧しながら、ルオーが日本の洋画史に果たした役割や我が国におけるルオーの評価の特異性を浮き彫りにします。さらに、白隠慧鶴や富岡鉄斎の書画、そしてルオーの後世代の日本の作家や現代作家の作品も展示し、そうした作品との共鳴に、時代や芸術ジャンルを越えるルオーの芸術の普遍性を考えます。●日本をキーワードに、国内外から出品される約80点の作品と関連資料を通して、ルオー芸術の新たな側面に迫ります。



④



⑤



⑥



⑦



⑧

©ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2019 B0447
※会期中、一部展示替えがあります。

①ジョルジュ・ルオー 《両腕を挙げた裸婦》 1907年 水彩、パステル、墨、油彩／紙 パリ市立近代美術館 Photo © Musée d'Art Moderne/Roger-Viollet ②ジョルジュ・ルオー 《日本の武士(武者絵)》 1928年頃 墨、パステル、精油で塗いた油彩／紙 個人蔵 ③ジョルジュ・ルオー 《クマエの巫女》 1947年 油彩／紙 個人蔵、パリ ④梅原龍三郎 《桜島(青)》 1935年 油彩／キャンヴァス 東京国立近代美術館 ⑤松本竣介 《郊外》 1937年 油彩／板 宮城県美術館 ⑥三岸好太郎 《道化》 1930-31年頃 油彩／キャンヴァス 北海道立三岸好太郎美術館 ⑦舟越保武 《聖ペロニカ》 1986年 砂岩(諫早石) 岩手県立美術館 ⑧マコト フジムラ 《二子玉川園》 1989年 金、銀、墨、顔料／雲肌麻紙 東京藝術大学
この展覧会は、ジョルジュ・ルオー財団の協力のもと開催されます。 Exposition réalisée avec le concours de la Fondation Georges Rouault.

◎関連イベント

記念講演会

「戦後日本美術史のルオー受容」

日本におけるルオー像はいかにしてつくられたのか。長年ルオーを研究する後藤氏にお話しいただきます。

4月25日(土)午後2時～午後3時30分

講師：後藤新治氏(西南学院大学教授)

会場：パナソニック東京汐留ビル5階ホール/要予約(定員150名)

対談

「日本とフランス・響き合う色と線」

近代日本美術史家であり画家でもある小林氏と梅原龍三郎を中心とする日仏美術交流を研究する嶋田氏による、日本の洋画家とルオーをめぐる対談です。

5月16日(土)午後2時～午後3時30分

講師：小林俊介氏(山形大学教授・画家・美術史家)

嶋田華子氏(美術史家・梅原龍三郎曾孫)

会場：パナソニック東京汐留ビル5階ホール/要予約(定員150名)

「記念講演会」と「対談」の予約方法

ハローダイヤル(03-5777-8600)へ

お電話にてお申し込みください。

2月10日(月)より受付開始(受付時間：午前8時～午後10時)

《必要事項》

①イベント名 ②参加人数(一度に2名までお申し込みいただけます)

③氏名(全参加希望者) ④住所 ⑤電話番号

*聴講は無料ですが本展の観覧券(半券)と予約が必要です。*ご予約の際は簡単なアンケートにご協力いただきます。*当日は予約時にお知らせする整理番号を活用してご入場いただけます。*お申し込み時にいただいた個人情報は、本イベントの受講管理の目的でのみ使用し、参加希望者はこの目的での使用に同意したものとします。*予約受付は先着順で、定員になり次第締め切ります。*定員に達しなかった場合、当日受付をする場合があります。*未就学児はご遠慮ください。

当館学芸員によるギャラリートーク

4月18日(土)、5月22日(金)、6月6日(土)いずれも午後2時～、予約不要・参加無料(本展観覧券が必要です)。混雑状況によってはスライドトークに変更となります。

オリジナル紙クリッププレゼント

ルオーが好きだったという「経節」にちなみ、「24(ふし)」のつく会期中の指定日に、オリジナル紙クリップを各日先着200名様プレゼントします。

【配布日】4月14日(火)・24日(金)、5月12日(火)、6月2日(火)

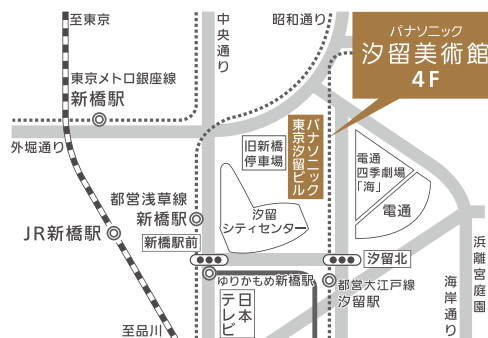
子どもと一緒にアート鑑賞day!

通常は休館している水曜日を利用しますので、美術館デビューの子どもにもおススメ!

6月3日(水)午前10時～午後6時(入館は午後5時半まで)

対象：未就学児～小学生(無料)とその保護者(要観覧券)

*授乳およびおむつ替えスペースあり



〒105-8301 東京都港区東新橋1-5-1 パナソニック東京汐留ビル4階
お問い合わせ ハローダイヤル 03-5777-8600

<https://panasonic.co.jp/ls/museum/>

[交通のご案内] JR「新橋」駅より徒歩約8分、東京メトロ銀座線・都営浅草線・ゆりかもめ「新橋」駅より徒歩約6分、都営大江戸線「汐留」駅より徒歩約5分

Panasonic Shiodome Museum of Art | ROUAULT GALLERY

パナソニック 汐留美術館

【入館料】一般1,000円/65歳以上900円/大学生700円/中・高校生500円/小学生以下無料

※20名以上の団体は100円割引 ※障がい者手帳をご提示の方、および付添者1名まで無料でご入館いただけます。

【次回予告】「特別企画 和巧絶佳展—令和時代の超工芸—」
2020年7月18日(土)～9月22日(火・祝)